（小10）鹿児島市立吉野小学校
令和4年8月31日

令和４年度　学校評価　自己評価書（前期）

１　学校の重点目標

○　基礎学力を身に付け、自ら考え判断・表現し、学び続ける児童の育成
○　人や物を大切にし、規範意識や社会性、基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成
○　ふるさとと自分に誇りをもち、粘り強く最後まで頑張り抜く児童の育成
○　健康・安全に対する自己管理能力を高め、体力・気力つくりに励む児童の育成

２　課題と改善策

	評　価　項　目	職員	評価結果と改善方策
かしこい子	分かる授業ができているか。	2.9	・　新型コロナウイルス感染症の影響で体験活動を重視した取組が難しかった。感染症防止対策を講じた教育活動を展開する。 ・　学力向上へ向けての取組であるＷｅｂ問題はチャレンジタイムだけでなく、あらゆる時間で有効に活用できるようにしたい。 ・　個別の指導が必要な児童がいるが、特別支援教育支援員だけの対応では難しい面がある。都合のつく職員（管理職、専科、加配等）の協力の下に指導を行う。
	共通実践事項に従って，しつけや授業ができているか。(「聞く」指導の徹底、「めあて→山場→まとめ」等)	2.9	
	「家庭学習の手引き」を活用して，授業と連動した家庭学習に取り組ませているか。	3.0	
	児童自ら課題を見つけ，主体的に解決を図る問題解決的な学習を展開するとともに，体験活動を重視した授業に取り組んでいるか。	2.9	
	学力向上の取組として、「かごしま学力向上支援Webシステム」やチャレンジタイムを効果的に活用しているか。	2.4	
	児童の実態を把握し，個に応じた学習指導の実践に努めているか。	3.0	
	校内研修に対して，課題意識をもって主体的に取り組んでいるか。	3.0	
	各種委員会や学年会等で把握した児童に関する課題に対し，学校全体で共有し，解決に向けた取組がなされているか。	3.2	
やさしい子	全職員の共通理解のもと，「廊下歩行」「あいさつ」「トイレスリッパ」「靴棚の靴」等の実践がなされているか。	3.0	・「廊下歩行」「あいさつ」「トイレスリッパ」「靴棚の靴」の取組があと少しである。児童に、なぜそうするべきか理由を考えさせるとともに、全職員で、言葉掛けなどの指導を引き続き徹底する。 ・　昨年度からの共通実践事項として保健指導、安全指導、生活指導の各係から取組内容を実践中。
	教児一体となって，清掃活動に取り組んでいるか。	3.2	
	年間計画に従って学校緑化活動に取り組み，生き物を大切にする心を育てることができているか。	3.2	
	考え議論する道徳の授業や，道徳性を育む指導を行っているか。	3.0	
	児童がお互いのよさを認め合い，相手の立場を考えた行動をとろうとする意識を高める人権教育に取り組んでいるか。	3.1	
	計画的に読書指導を行い，読書意欲や読書の質を高めることができているか。	3.2	
	児童に基本的な生活習慣を身に付けさせているか。	3.1	
たくましい子	チャレンジかごしまの取組や外遊びの励行等を通して，児童の体力向上や運動に親しむ態度の育成が行われているか。	2.8	・　体力向上の取組は新型コロナウイルスの感染状況や熱中症予防等との影響で難しい側面が見られた。今後はクラス全体で目標をもって取り組む。 ・　新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点を常に意識し、給食中の黙食や健康に対する取組（マスク着用、手洗い等）を引き続き徹底する。
	児童の病気やけがの予防・治療や健康作りに対する意識を高め，実践しようとする指導を行っているか。（手洗い・うがい，食事，睡眠等）	3.2	
	給食の時間を通して，感謝の心の涵養や好ましい人間関係作りを図ることができているか。（食事マナー，残食0など）	3.1	
	校内，家庭，地域での安全な過ごし方，不審者対応，交通安全などについて，計画的・日常的に指導し，児童の「自分の命は自分で守る」という意識を育てることができているか。	3.2	
その他	職場は，何でも言える雰囲気があるか。	3.0	・　学校がチームとして機能できていると思われる。引き続き、共通意識をもって指導に当たりたい。
	職場は楽しいか。	3.2	

↑４段階評価による平均値

３　後期に向けての取組

○　新型コロナウイルス感染対策を徹底しつつ、「新しい生活様式」を学校に柔軟に取り入れて校務の機能化を図る。
○　共通実践事項の取組を職員全体で再度意識し、指導を徹底する。
○　引き続き職員のアイディアを出し合う雰囲気作りに努め、職員同士のつながりを意識した言葉掛け等を続ける。